

## 4 解体工事中の環境保全対策

### ○ 安全対策

- ① 工事車両の出入口には交通誘導員を適切に配置し、通行者の安全を確保します。
- ② 工事車両の運行は、交通法令を遵守し、交通安全に努めます。
- ③ 工사용車両は、工事敷地外での待機を禁止します。
- ④ 工事部分には仮囲いを設置し、工事の安全確保に努めます。

### ○騒音・振動対策

- ① 低騒音・低振動型の建設機械を採用し、騒音・振動の発生抑制に努めます。
- ② 騒音計・振動計を設置し、測定値をリアルタイムで監視及び表示します。
- ③ 全覆い仮設テントで外への作業音を低減します。

### ○粉じん対策

- ① 粉じんが発生する作業は、適時散水など必要な措置を行い、粉じんの飛散防止に努めます。
- ② 粉じん計を設置し、測定値をリアルタイムで監視します。
- ③ 全覆い仮設テントと大型集じん機により粉じんの飛散を抑制します。

### ○排出ガス対策

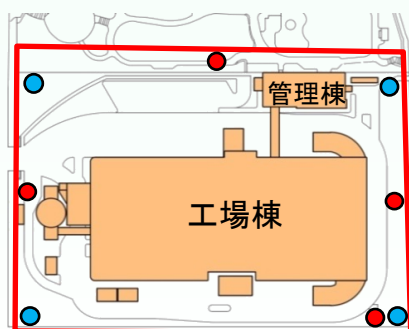
- ① 排出ガス対策型建設機械を採用します。
- ② 工事に使用するディーゼル自動車は、粒子状物質規制に対応した車両を使用します。
- ③ 場内待機中の建設機械や工事車両は、アイドリングストップを徹底します。

### ○地盤対策

- ① 掘削区域の周囲に山留め壁を構築し、周辺環境への影響を防止します。
- ② 仮囲い4箇所自動計測器を設置し、水平位置・レベルをリアルタイムで計測します。

### ○環境調査

- ① アスベスト調査  
仮囲い4箇所解体工事着工前、解体工事中、解体工事完了後に周辺大気中のアスベスト濃度を測定します。
- ② ダイオキシン類調査  
仮囲い4箇所解体工事着工前、解体工事中、解体工事完了後に周辺大気中のダイオキシン類濃度を測定します。



□ 仮囲い

● 騒音、振動、粉じん、アスベスト、  
ダイオキシン類

● 地盤変位

各種調査測定位置図